



えんだより



2022年3月
吉野幼稚園

主 題：「良く育った」

聖書のことば：「光の子として歩みなさい」（エフェソの信徒の手紙5：8）

コロナ禍の中でも、いよいよ1か年が過ぎようとしています。新しい日常と我慢することの多かった1年だったように思います。それでも、季節は確実に過ぎゆき、日一日と温かさを感じるようになり、少しずつ春の訪れをかんじるようになりました。

いよいよ3月となりました。Aクラス(年長児)さんは、今月末には卒園して小学校へ入学します。また、Bクラス(年中児)さん、Cクラス(年少児)さん、Dクラス(年少少児)さんもそれぞれ1学年進級して、Aクラス、Bクラス、Cクラスとなります。子供たちの成長というものは、本当に早いもので、1日1日の変化では、それほど気付かないものの、昨年4月と比べるとそれぞれの子どもたちがいろいろな面で大きく成長しているなど思うことです。例えば、入園当初の登園の時、お母さんから離れずに泣いてばかりいた子が、今はもう、すんなり別れることができるようになったとか、登園しても自分の身の回りの片づけができずに先生方に手伝ってもらっていた子が、今は年下の子どもを教えるまでになったとか、本当に見違えるように成長しています。このような一人一人の成長は、私たち幼稚園で勤めている者にとっても、大きな喜びです。各家庭におかれましては、年度末等に子どもたちの成長を振り返る機会が多々あるかと思いますが、一人一人の子どもの成長をぜひしっかりほめてあげてさらに伸ばしていけるように、ご配慮をお願いいたします。

さて、今月の聖句は「光の子として歩みなさい」です。「光の子」とは、聖書の慣用句みたいなもので、違いを認めることのできる心の広さを言います。人の良さを素直に認め喜ぶことのできる円満な人格を指す言葉です。それこそモンテッソーリ教育が目指している理想の姿です。

最後になりましたが、ご卒園ご進級おめでとうございませう。親子ともども「光の子」となって「よく育った！」ことを祝う日々でありますようお祈り申し上げます。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりませう。

【園長 野田弘之】

3月のねらい

- Aグループ ・一年生になる自覚と期待を持ち、最後の園生活を十分に楽しむ。
- Bグループ ・Aグループへの感謝の気持ちを伝え、進級を自覚し期待を持って迎える。
- CDグループ ・進級に向けて期待を持ち、物事に意欲的に取り組む。